

大阪医科大学学報

年 頭 所 感

学長 松本 秀雄

平成3年度の新春を迎えるにあたり、本学教職員各位に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。平成2年は国際的にみますと、正に激動の年でありましたが、現在も不幸にして中東地域で戦争が始まり、世界は新しい問題を抱えることになりました。幸い本学では平成2年3月15日新卒業生108名を送り出し、4月10日には1,190名から選抜された優秀な新入生を迎えることが出来ました。医師国家試験も合格率87.9%で、変わらず上位グループに位置する優秀な成績でありましたことはご同慶の至りに存じます。現在名実共に本学が高い評価を受けている理由でもあります。

本学は常に優秀な医師を送り出すことに意を注ぎ、平成2年度から幾つかの委員会を教育検討委員会一つに集約し、新しい時代に対応出来る教育の進め方、新しいカリキュラムについて検討、実施を進めております。宿願でありました地下1階地上12階の新総合研究棟も昨年2月末日に竣工し、基礎・臨床医学教室・中央研究室が一つの建物の中に入り、機能的に研究を進めることが可能になりました。

患者に信頼される良医を養成するという目的の中で、立派な研究者を育て上げることも徐々に成果を上げていていると考えますが、今後卒業生の中から更に多くの教育研究者が生まれることが何よりも大切なことであり、本学にとってもっとも重要なことでもあります。若い研究者が更に勇気と希望を持って、研究に精進してほしいと思います。大阪医科大学の長い立派な伝統を守りながら、一層の発展と飛躍を目指して、より恵まれた環境の中で、教職員が一体となって真剣に努力を続けて参らねばなりません。

◆目	次◆
年 頭 所 感	1
法人評議員選任	2
規 程 改 正	2
人事 { 採用・昇格、異動・休職、復職 }	2~4
{ 委嘱、解嘱・退職・海外渡航 }	
	解剖学 I 講座担当教授候補者の 公募について..... 5
	心理学担当教授候補者の公募について..... 5
	平成2年度大阪医科大学実験動物慰霊祭..... 5
	平成3年年賀交歓会..... 5
	学 位 記 授 与..... 6

法人

評議員選任

再任	太藤重夫	2. 11.30
〃	山野俊雄	〃
〃	横田実	2. 12.25
〃	鷹津正	〃

規程改正

・住宅手当支給規程中一部改正について

第2条1. 2について次のように改正する。

1. 月額21,000円(20,500円)以下の家賃を支払っている職員。
家賃の月額から11,000円を控除した額。
2. 月額21,000円(20,500円)を超える家賃を支払っている職員。
家賃の月額から21,000円(20,500円)を控除した額の2分の1(その控除した額の2分の1が13,000円(11,500円)を超えるときは13,000円(11,500円))を10,000円(9,500円)に加算した額。

※()内は改正前支給額

施行日 平成2年4月1日より

・旅費支給規程中一部改正について

校務出張旅費支給規程研修会講習会等出張旅費特例の日額旅費について改正された。

施行日 平成2年12月1日より

人事

採用

助手	折野達彦(胸部外科学)	2.11.16
〃	蓑原靖一良()	〃
〃	森本悦司(麻醉科学)	〃
看護婦	中村恵子(病院看護部)	〃
看護補助員	相谷文江()	2.12. 1
助手	井本廣済(産婦人科学)	2.12.16
〃	深江英一(形成外科学)	〃
助教授	長澤史朗(脳神経外科学)	3.1.1
助手	南俊二(病理学Ⅱ)	〃
〃	松本章夫(内科学Ⅱ)	〃
〃	中島幹雄(整形外科)	〃
看護婦	大西裕美(病院看護部)	〃
〃	中山奈緒美()	3.1.16
講師	竹内栄一(脳神経外科学)	3.2.1
助手	坂根貞樹(内科学Ⅰ)	〃
〃	長谷川史明(泌尿器科学)	〃
〃	中川俊正(病態検査学)	〃
〃	山口淳(リハビリテーションセンター)	〃
看護婦	東和美(病院看護部)	〃

昇格、異動

講師	奥孝彦(胸部外科学助)	2.12.1
〃	北川眞(小児科学助)	〃
助教授	関一郎(内科学Ⅰ講師)	3. 1. 1
講師	井上澄江(衛生学・公衆衛生学助)	3.1.16
〃	高松順太(内科学Ⅰ助)	3. 2. 1
〃	上田陽彦(泌尿器科学助)	〃

休職、復職

休職を命ずる

看護婦長 藤井美枝子(病院看護部) 2.11.16
助手 齊藤 治(内科学Ⅱ) 2.11.22
" 中張 隆司(生理学Ⅰ) 3. 1. 5

復職を命ずる

講師 奥田喜代司(産婦人科学) 2.11.14
助手 中張 隆司(生理学Ⅰ) 3. 1. 15
講師 平田 一郎(内科学Ⅱ) 3. 2. 1

委嘱、解嘱

心理学担当教授選考委員会委員を委嘱する

教授 岩崎 尚彦(生物学) 2. 12. 5
" 吉田 康久(衛生学・
公衆衛生学) "
" 溝井 泰彦(法医学) "
" 堺 俊明(神経精神医学) "
" 田嶋 定夫(形成外科学) "
助教授 奥西 秀樹(薬理学) "
" 友田 恒典(病態検査学) "
講師 藤澤 良行(英語) "
" 豊田 勝弘(神経精神医学) "
助手 境 晶子(化学) "
" 黒田 健治(神経精神医学) "

同上委員会委員長を委嘱する

教授 岩崎 尚彦(生物学) 2.12.7

同和教育推進委員会委員を委嘱する

講師 豊田 勝弘(神経精神医学) 2.12.5

客員教授を委嘱する

大阪府三島
救命救急
センター長 田邊 治之 3. 1. 1

学内講師を委嘱する

助手 坂倉 淳(耳鼻咽喉科学) 3.1.1
" 菅澤 淳(眼科学) "
" 徳岡 覚(") "
" 上野 浩(病理学Ⅱ) 3.2.1
" 澤田 健(") "
" 前田 裕子(放射線医学) "

学長予定者選考規程改正委員会委員を委嘱する

講師 田窪 孝行(病態検査学) 3. 1. 9

退職

助手 宇田るみ子(麻醉科学) 2.11.15
守衛 新郷 輝次(総務部保安課) "
助手 山下 英俊(産婦人科学) 2.12.15
" 山本 喜英(形成外科学) "
事務員 久山喜久子(病院事務部
医事課) "
" 西川めぐみ(") "
助教授 辻 求(病理学Ⅱ) 2.12.31
助手 奥村 泰啓(内科学Ⅱ) "
" 森田 純弘(整形外科学) "
事務員 南 ひろみ(病院事務部
医事課) "
" 米山由希子(") "
技術員 小谷 康仁(病院放射線科) "
" 浜田 知子(病院輸血室) "
看護婦長 森口 文子(病院看護部) "
臨床指導者 榎内 和枝(") "
看護婦 野田志登美(") "
" 日高 操(") "
看護助手 松永 黎子(") "
看護補助員 田畑ナツ子(") "

助 教 授 佐野 進 (形成外科学) 3. 1. 31
講 師 黒岩 敏彦 (脳神経外科学) “
” 北川 慶幸 (泌尿器科学) “
助 手 川崎 利博 (“) “
事 務 員 奥田 清子 (病院事務部)
医 事 課 “
臨床指導者 西村 里美 (病院看護部) “

瀬本 喜啓 (整形外科学助手)
スウェーデン他 (ウプサラ他)
2. 11. 2 ~ 2. 11. 15
杉本 修 (産婦人科学教授)
スイス (ジュネーブ) 2. 11. 3 ~ 2. 11. 11
小野村 敏信 (整形外科学教授)
フランス (リヨン他) 2. 11. 6 ~ 2. 11. 18

海外渡航

留 学

中張 隆司 (生理学Ⅰ助手)
オーストラリア (シドニー大学)
2. 1. 5 ~ 3. 1. 14 (10日間延長)

齋藤 治 (内科学Ⅱ助手)
アメリカ (ラホヤ癌研究所)
2. 11. 22 ~ 3. 2. 21

浜田 勝生 (泌尿器科学講師)
大西 周平 (“ 助手)
韓国 (ソウル) 2. 11. 9 ~ 2. 11. 11

清水 玄 (内科学Ⅲ助手)
アメリカ (ダラス他) 2. 11. 9 ~ 2. 11. 22

藤本 守 (生理学Ⅱ教授)
インド (ニューデリー)
2. 11. 12 ~ 2. 11. 17

帰 学

奥田喜代司 (産婦人科学講師)
イギリス (ニューキャッスル大学)
1. 11. 1 ~ 2. 11. 13

中張 隆司 (生理学Ⅰ助手)
オーストラリア (シドニー大学)
2. 1. 5 ~ 3. 1. 14

平田 一郎 (内科学Ⅱ講師)
スウェーデン (カロリンスカ病院)
2. 5. 11 ~ 3. 1. 31

中務 真人 (解剖学Ⅰ助手)
イギリス (ロンドン他)
2. 11. 12 ~ 2. 12. 25

檜林 勇 (放射線医学教授)
辰 吉光 (“ 助手)
アメリカ (シカゴ) 2. 11. 24 ~ 2. 11. 30

渡辺 秀男 (整形外科学助手)
台湾 (台北) 2. 11. 30 ~ 2. 12. 3

出 張

山田 眞一 (一般・消化器外科学助教授)
インド (ニューデリー) 2. 11. 2 ~ 2. 11. 8

磯崎 博司 (一般・消化器外科学講師)
タイ (バンコック) 3. 1. 9 ~ 3. 1. 13

解剖学Ⅰ講座担当教授候補者の公募について

鉤 スミ子教授が平成3年3月末をもって定年退職になるので、後任の教授を選考する。

主専門領域は「組織学」であって、「系統解剖学実習」の指導もできる方が望ましい。

応募要項

応募方法 自薦または他薦

1) 提出書類

・履歴書

・教育・研究歴

(研究活動の概要および教育に対する抱負をB4用紙(縦)に横書2000字程度にまとめて下さい)

・研究業績目録

・主要論文(5編, 別刷各2部)

・他薦の場合 推薦書および本人の同意書を添付

・締切期日 平成2年12月15日

心理学担当教授候補者の公募について

越賀一雄教授が平成3年3月末をもって定年退職になるので、後任の教授を選考する。

応募要項

応募方法 自薦または他薦

1) 提出書類

・履歴書

・教育・研究歴

(研究活動の概要および教育に対する抱負をB4用紙(縦)に横書2000字程度にまとめて下さい)

・研究業績目録

・主要論文(5編, 別刷各2部)

・他薦の場合 推薦書および本人の同意書を添付

・締切期日 平成3年3月15日

平成2年度大阪医科大学実験動物慰霊祭

12月8日(土)午後1時より、講義実習棟(第一講堂)において、学長をはじめ実験動物センター長、教職員の参列のもとに執り行われた。

平成3年年賀交歓会

1月4日(金)午後1時より大学管理棟会議室において本学役員、教職員が一同に会して行われた。

学 位 記 授 与

(交付年月日 2. 11. 21)

番 号	氏 名	論 文 題 名
甲第407号	柴 原 伸 久	Axoplasmic electrolyte contents measured by X-ray microanalysis in experimental uremic neuropathy (尿毒症性末梢神経障害の病因に関する実験的研究)
甲第408号	岡 野 智 英	SUPEROXIDE GENERATION IN LEUKOCYTES AND VITAMIN E (白血球のスーパーオキシド産生機能とビタミンE)
甲第409号	福 永 泰 広	Cyclosporine A のラット単離脂肪細胞における糖利用能に対する効果について
甲第410号	山 下 正 人	体位変換による脳室内圧の変化 —とくに脳室腹腔短絡術後の水頭症患者にみられる脳室内圧の変化—
甲第411号	谷 口 博 克	Computed Tomography による破裂脳動脈瘤の部位推定法 —脳底槽部、脳内および脳室内高吸収域分布の解析—
甲第412号	垣 鍔 典 也	鼾の睡眠深度別発現頻度と音源に関する研究
甲第413号	高 田 淳	Lymphatics, Pre-lymphatic Connective Tissue and Milky Spot-like Structures in Rabbit Pericardial Cavity Walls (イェウサギ心膜腔壁のリンパ管、リンパ管前結合組織および乳斑様構造)
乙第515号	横 田 和 男	Clinical Evaluation of Alpha-Tocopherol in Buccal Mucosal Cells of Children (小児における頬部粘膜細胞の α -Tocopherol 値の臨床的評価について)
乙第516号	田 吹 和 雄	サルモネラ下痢症に対する化学療法剤の基礎的並びに臨床的検討
乙第517号	奥 村 泰 啓	NSAIDs 惹起性胃病変の発生機序に関する研究 —aspirin と indomethacin の比較—
乙第518号	後 藤 秀 幸	Distribution and metabolic fate of radioactive carbon from L-[U- 14 C] arginine administered into mice (マウスへ投与した放射性標識アルギニンの全身における分布と代謝)
乙第519号	足 立 一 彦	Adipose Tissues and Vitamin E (脂肪組織とビタミンE)
乙第520号	村 木 宏 要	僧帽弁狭窄症の術後遠隔期成績 —超音波検査法による検討—
乙第521号	池 内 慶 公	慢性精神分裂病の臨床症状に対するデイケアの効果
乙第522号	磯 谷 治 彦	糖尿病性自律神経障害の新しい評価法としての暗順応時瞳孔面積の測定

大 阪 医 科 大 学 学 報 第 7 号
発行年月日 平成3年2月1日
発 行 学校法人 大阪医科大学
発行責任者 事務局長 松 村 實
編集・発行 総 務 部 庶 務 課